

# 朝鮮半島からみた日本の歴史

講師= **康成銀** (朝鮮大学校  
朝鮮問題研究センター長)

朝鮮半島と日本は、古代より深いつながりを持っていた。にもかかわらず、明治維新を境に、アジアの盟主を夢見て帝国主義の道を歩んだ日本は、隣国の朝鮮をあたかも目下の民族であるかのように見下し、戦争に次ぐ戦争と、35年間に及ぶ植民地支配の末、1945年に無条件降伏をさせられた。しかしその根は完全に掘り起されず、いまも植民地主義暴力として日本社会にうごめいている。日本と朝鮮の正しい関係・歴史認識を築くため、隣りあう朝鮮半島と日本の歴史を、1年間のシリーズを通じて学んでいく。

〈後期〉は以下のテーマを予定しています。

⑥日露戦争（第二次朝鮮・東北アジア戦争）と韓国強制「併合」⑦日本の朝鮮植民地支配と民族解放闘争（第三次朝鮮・東北アジア戦争）⑧解放と分断——日本の「戦後民主主義」と朝鮮戦争（第四次朝鮮・東北アジア戦争）⑨21世紀の朝鮮と日本——脱植民地主義・脱冷戦

開講講座  
5月11日(土)  
開始 13:00  
終了 16:30

## 3・1独立運動100年と朝鮮半島のいま

——連続講座「朝鮮半島からみた日本の歴史」開催にあたって

シリーズ  
第②回

6月12日(水) 朝鮮と日本の住民の成り立ち、倭の王權と朝鮮  
(高句麗、百濟、新羅、伽耶)

シリーズ  
第③回

7月10日(水) 「日本」の成立と新羅・渤海、  
モンゴルの来襲と東アジア

シリーズ  
第④回

8月21日(水) 室町時代・織豊政権期・江戸時代の日本と朝鮮  
——交隣、その虚実

シリーズ  
第⑤回

9月18日(水) 近代日本の朝鮮侵略  
——明治維新・日清戦争（第一次朝鮮・東北アジア戦争）

受講料= 1回 1500円 1回あたりの受講料が割安になる8枚綴りの受講券もあります。  
お気軽にお問い合わせください！

### 講師プロフィール

康成銀（カン・ソンウン） 1950年、在日朝鮮人二世として大阪市に生まれる。1973年、朝鮮大学校歴史地理学部を卒業。現在、朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長。朝鮮近代史専攻。主な著書に『朝鮮の歴史から「民族」を考える——東アジアの視点から』（明石書店、2010年）、『1905年韓国保護条約と植民地支配責任——歴史学と国際法学との対話』（創史社、2010年）、『金沢大学重要研究 東アジア共生の歴史的基礎——日本・中国・南北コリアの対話』（お茶の水書房、2008年、共著）、『国際共同研究 韓国併合と現代』（明石書店、2008年、共著）など。

